

# 新型コロナウイルスの影響を考慮した議決権の行使 について

2021年4月30日更新  
大和アセットマネジメント株式会社

当社は、新型コロナウイルス（COVID-19）感染症拡大の影響に鑑み、2020年5月18日に「新型コロナウイルスの影響を考慮した議決権の行使について」を開示し、①株主総会について、②情報開示について、③手元流動性等について、④ROE等についての4点に関し、現下の状況を十分に勘案した上で、議決権を行使することとしました。

その後、議案の賛否判断に必要な情報（事業報告書、有価証券報告書等）の開示については投資先企業が通常の期間で対応を行うことが可能になったと判断し、2020年8月27日より、②情報開示については、「議決権の行使に関する方針」（注）に従った議案の賛否判断を行っています。

現在においても、依然として新型コロナウイルス感染症の企業業績に対する影響は大きいと認識していますが、一方で、事業環境における不透明感や資金調達状況は改善したと判断しており、③手元流動性等についても、6月開催株主総会より「議決権の行使に関する方針」（注）に従った賛否判断といたします。

尚、以下については、引き続き状況を十分勘案した上で議決権を行使する方針に変更はありません。

## ① 株主総会について

投資先企業が、総会関係者の健康や安全に配慮した結果、選択した株主総会の形式（バーチャル開催、延期、継続会等）については、これを尊重いたします。

## ② ROE等について

当社では、議決権の行使に関する方針（注）において、株主資本の有効活用の指標としてROEやPBRを参照しますが、これは投資先企業に持続可能性を損なうような過小資本を求めるものではありません。中長期的な企業価値向上の観点から、状況を勘案して対応いたします。

その他、新型コロナウイルスの影響により、投資先企業が通常と異なる対応をせざるを得ない場合は、可能な限りその状況を勘案いたします。

以上

（注）「議決権の行使に関する方針」[https://www.daiwa-am.co.jp/company/managed/guideline\\_03.pdf](https://www.daiwa-am.co.jp/company/managed/guideline_03.pdf)